



peers

NEW NORMAL ACCELERATION

2026年9月期 第3四半期

決算説明資料

2026年8月14日

株式会社ピアズ

東証グロース市場(証券コード：7066)

1. 業績ハイライト

2. 第3四半期 決算ポイント

3. 株主還元策

4. Appendix

- 3Q累計の売上高・EBITDA・経常利益は過去最高値を更新。営業利益は前年同期並みで推移
- 当期純利益は繰越欠損金の解消に伴う法人税等の増加により減少。税引前ベースでは+24.8%と実質的に増益

売上高

54.98億円

↑
前年同期比
+22.1%

営業利益

3.96億円

→
前年同期比
±0.0%

EBITDA

6.17億円

↑
前年同期比
+12.8%

経常利益

4.65億円

↑
前年同期比
+28.8%

当期純利益

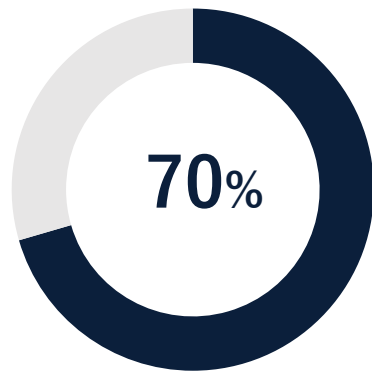
2.58億円

↓
前年同期比
-18.9%

修正後通期連結業績予想に対する進捗率

- 3Q累計時点で、経常利益は修正後予想を上回る進捗
- 経常利益の超過は一時的な投資関連利益による（除くと約93%）

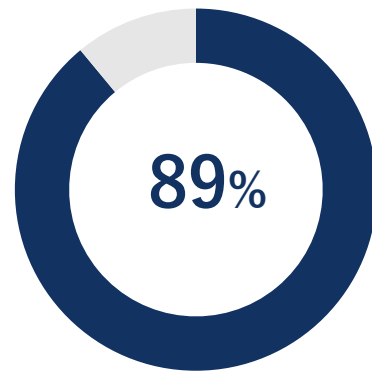
売上高



3Q累計 5,498 百万円

修正後予想 7,800 百万円

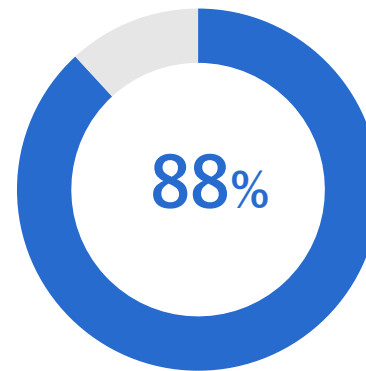
営業利益



3Q累計 396 百万円

修正後予想 445 百万円

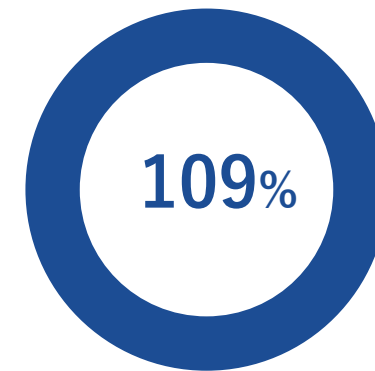
EBITDA



3Q累計 617 百万円

修正後予想 700 百万円

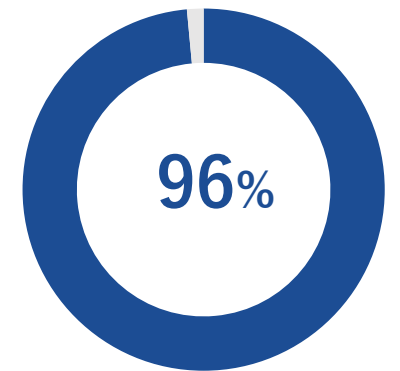
経常利益



3Q累計 465 百万円

修正後予想 425 百万円

当期純利益



3Q累計 258 百万円

修正後予想 270 百万円

連結損益計算書

- 営業利益はM&Aに伴うのれん償却等の増加により前年同期並み。EBITDAは+12.8%と増加し、投資回収は順調に進捗
- 経常利益は投資関連利益の計上により+28.8%。当期純利益の減少は法人税等の増加によるもので、収益力は向上※

(単位:百万円)	2025年9月期 第3四半期 累計	2026年9月期 第3四半期 累計	前年同期比
売上高	4,503	5,498	+ 22.1%
売上総利益	1,308	1,601	+ 22.4%
営業利益	396	396	± 0.0%
EBITDA	547	617	+ 12.8%
経常利益	361	465	+ 28.8%
親会社株主に帰属する当期純利益※	319	258	- 18.9%

※ 繰越欠損金の解消に伴う法人税等の増加により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比で減少。税引前当期純利益ベースでは+24.8%増加

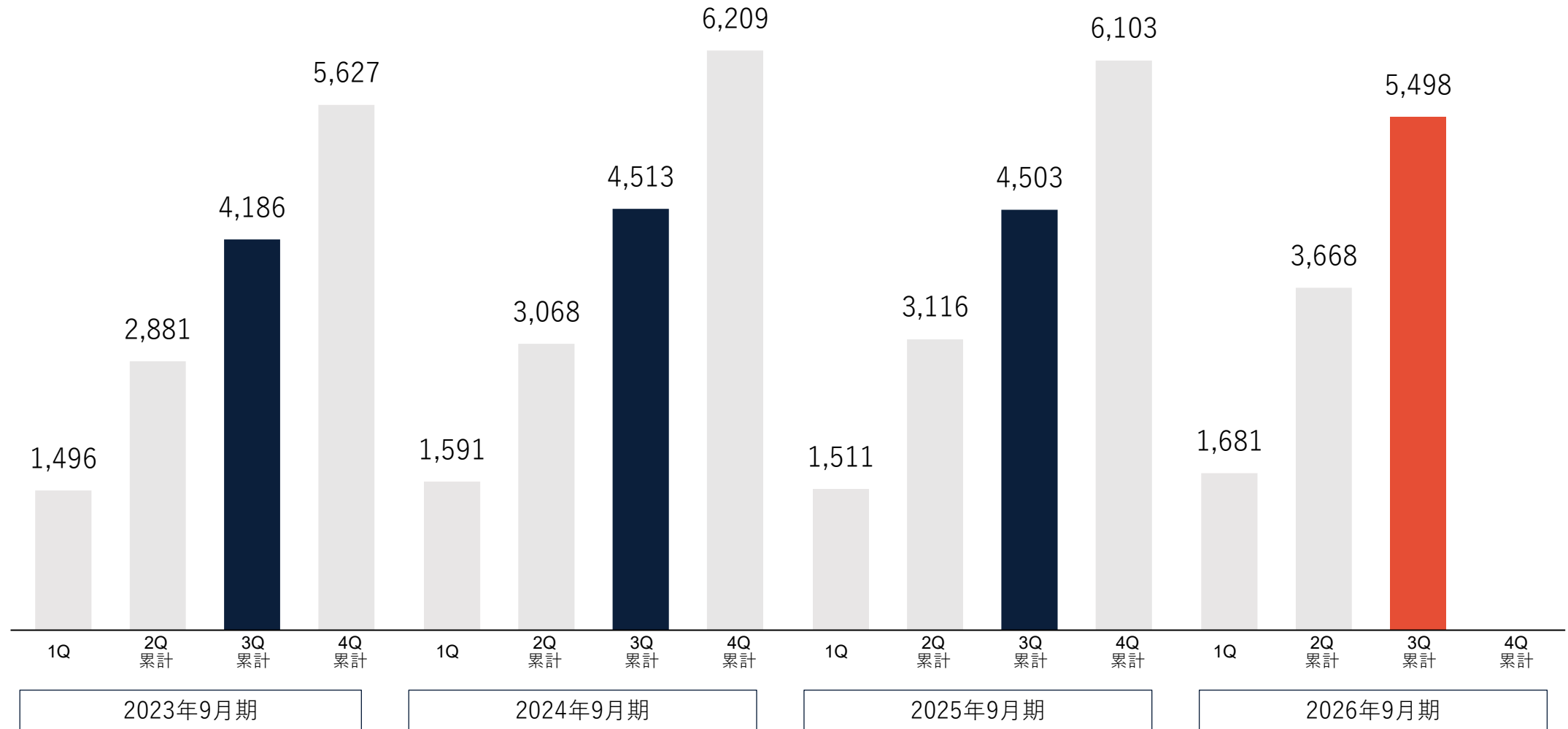
連結貸借対照表

- 3Q累計の利益計上と有利子負債の圧縮により自己資本比率は約66%まで上昇し、さらに強固な財務基盤を構築
- 中長期成長に向けた積極的な投資余力を引き続き確保

(単位:百万円)	2025年9月末	2026年6月末	増減額
流動資産	2,821	2,562	− 259
固定資産	1,634	1,706	+ 72
(うち、のれん)	668	834	+ 166
資産合計	4,456	4,268	− 188
流動負債	1,281	1,176	− 105
固定負債	415	264	− 151
負債合計	1,697	1,441	− 256
純資産合計	2,759	2,827	+ 68
負債純資産合計	4,456	4,268	− 188
自己資本比率	61.9%	66.2%	+ 4.3pt

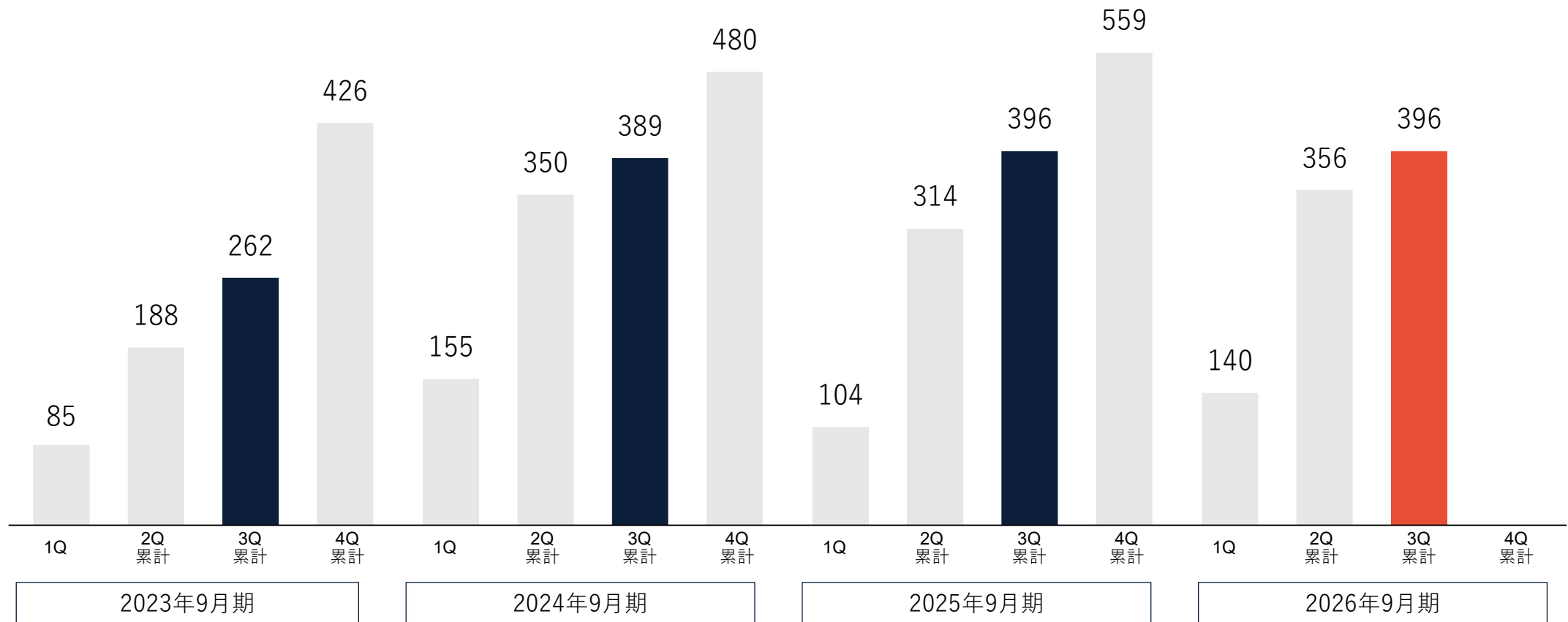
四半期別 連結業績の推移 — 売上高

- 売上高は前年同期比+22.1%と伸長し、3Q累計として過去最高値を更新
- 既存事業の順調な進捗、オンラインセールス事業の進展及びM&Aによるグループ会社の寄与が牽引



四半期別 連結業績の推移 — 営業利益

- 売上総利益は前年同期比+22.4%と伸長する一方、M&Aに伴うのれん償却等の増加が営業利益を押し下げ
- 3Q累計の営業利益は396百万円（前年同期比±0.0%）と前年同期並みで推移



1. 業績ハイライト
2. 第3四半期 決算ポイント
3. 株主還元策
4. Appendix

第3四半期 — 決算ポイント

グループ再編 — 2社の強みを統合し、新会社「NAJIM works」が始動 ※2026年10月1日予定(2027年9月期)

AI実装・対話設計力と、生活者向けサービス運営・コンテンツ収益基盤を統合



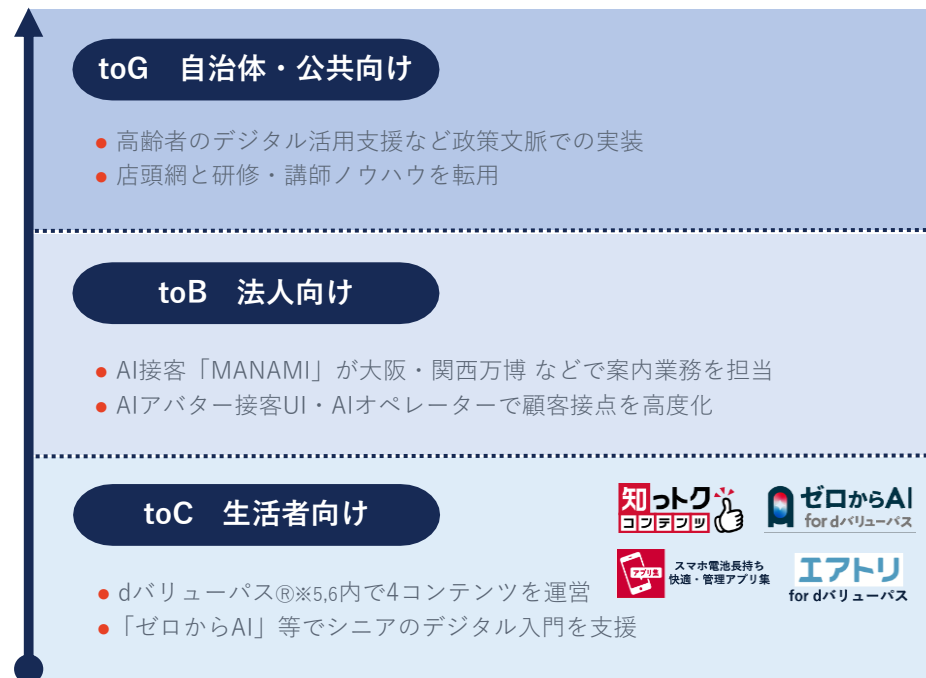
新しい体験を企画・開発・提供・運営まで一気通貫で事業化する体制へ

※ 連結子会社間の吸収合併および商号変更により、2026年10月1日効力発生予定。子会社間の合併であり、当期連結業績への影響は軽微。

第3四半期 — 決算ポイント

NAJIM works 成長戦略 — 生活者向けサービスで培う運営力を、法人・自治体向けへ展開

企画・開発・提供・運営を一体化し、顧客領域ごとに異なる課題を新たなサービスとして事業化



TAM NAJIM works が対象とする3領域

toG 全国約1,700自治体※1
デジタルデバйд対策は自治体DXの重点取組※2

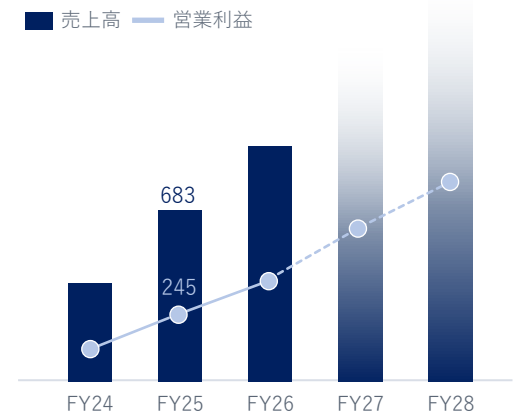
toB 従業員300人以上 約1.5万社※3
顧客接点DXは高成長分野
AI接客・接客UIの需要が拡大

toC 65歳以上 約3,620万人
内 ネット未利用層 約1,400万人(利用率60.8%)※4

デジタルコンテンツ事業の収益成長

単体 売上高・営業利益（百万円）

■ 売上高 — 営業利益



FY2026は前年を上回る着地見込

個室ブース譲渡後、収益は当領域へ集中

新しい体験を、日常になじむかたちへ。デジタル活用の裾野を広げることが、次の成長領域になる。

※1 総務省「市町村数の変遷と明治・昭和の大合併の特徴」（1,718市町村）

※2 総務省「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」において、デジタルデバйд対策が重点取組事項に位置づけられています

※3 総務省統計局「令和3年経済センサス活動調査」e-Stat「企業等に関する集計（表6-1）」（常用雇用者300人以上の企業等数15,520社）

※4 総務省「令和7年 通信利用動向調査」（65歳以上の利用率60.8%、国民全体85.6%）および「人口推計」（2026年1月1日現在）をもとに当社にて算出

※5 2026年3月1日より、「スゴ得コンテンツ®」から「dバリューパス®」に名称変更されました。

※6 dバリューパス®は株式会社NTTドコモが提供する、幅広いジャンルのコンテンツが月額550円（税込）で使い放題になるサービスです。初回お申込みから月額使用料が31日間無料でご利用頂けます。「dバリューパス」は、NTTドコモの登録商標です。

1. 業績ハイライト
2. 第3四半期 決算ポイント
3. **株主還元策**
4. Appendix

株主還元策 — 自己株式の取得

- 資本効率の向上と機動的な資本政策の遂行を目的に、1億円規模の自社株買いを実施（2026年4月7日に取得完了）
- 配当との両輪で、持続的な株主価値向上を推進

実施概要

取得価額の総額	99,959,200円
取得株式の種類	普通株式
取得期間	2026年3月23日～4月7日
取得株式数	178,200株
取得方法	東京証券取引所における市場買付

実施目的・株主価値向上への寄与

01 株主還元の充実

配当に加えた直接的な株主還元施策として、約1億円規模の自社株買いを2026年4月に完了

02 資本効率の向上

発行済株式数の調整を通じてEPS・ROEを改善し、資本効率を向上

03 機動的な資本政策

経営環境・株価水準等を踏まえ、最適な資本配分を機動的に遂行

株主還元策 — 配当方針

- 累進配当のもと、株主還元の安定性を高めながら、成長投資とのバランスを追求

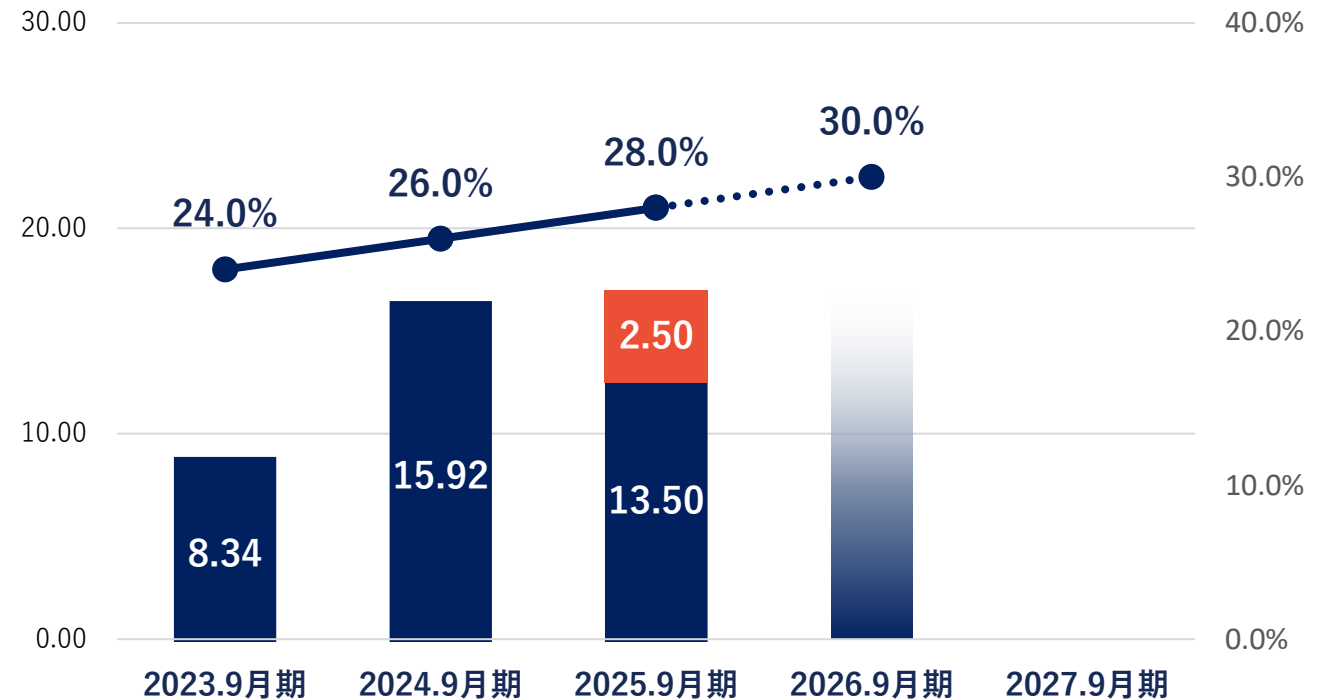
株主還元方針

1株当たり配当金の推移

累進配当

安定配当を継続し、着実な増配を目指す

- 企業成長と共に、配当による株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと位置づけ
- 配当性向30%以上を視野に入れつつ、累進配当を基本方針とし、1株当たり配当金は維持または増配を目指す
- 成長投資（M&A等）とのバランスを鑑みながら、自社株買いも機動的に実施



※ 折れ線グラフ（右軸）は配当性向を示す

※ 2025年9月期の配当には設立20周年記念配当2.50円を含む

※ 2026年8月3日付で資本金を50,258,900円減少し、その他資本剰余金へ振替（払戻を伴わない無償減資、純資産額に変動なし）

1. 業績ハイライト
2. 第3四半期 決算ポイント
3. 株主還元策
4. **Appendix**



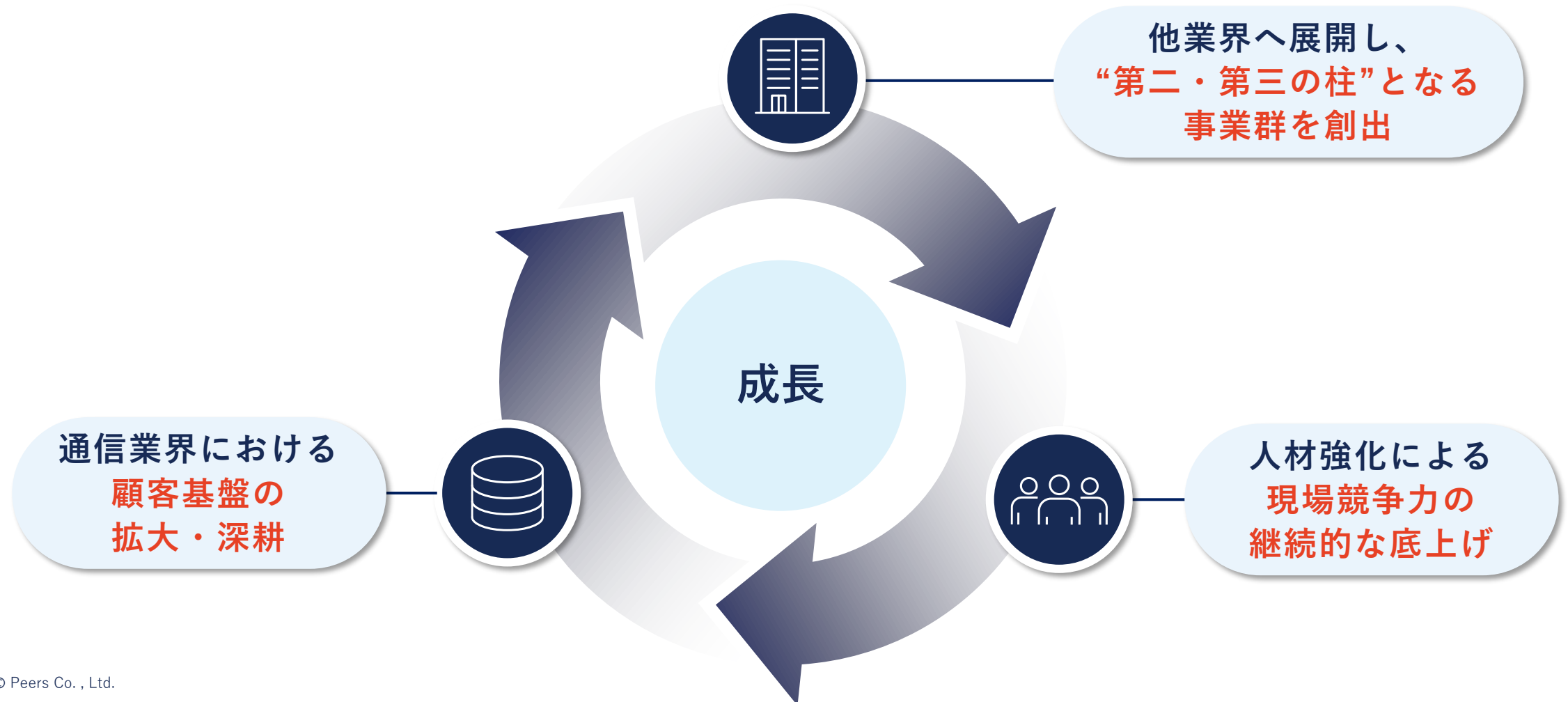
社名	株式会社ピアズ
事業開始	2005年1月
所在地	東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー15F
代表取締役	桑野 隆司
従業員数	483名 ※2025年9月時点、グループ会社を含む
上場市場	東証グロース 証券コード7066 (2019年6月20日上場)
資本金	50百万円 ※2026年8月時点
グループ会社	株式会社Qualiagram 2Links株式会社 株式会社フォークウェル ベルフェイスシステム株式会社 AIOパートナーズ株式会社

※ 株式会社Qualiagram および 2Links株式会社は、2026年10月1日付で合併し「株式会社NAJIM works」となる予定です。



事業拡大戦略

- 人材強化と顧客基盤の深耕を進めるとともに、第二・第三の事業の柱を確立することで、更なる成長を実現する



株主のみなさまへ

創業から21年を迎えました。

当社は、2019年6月20日に東京証券取引所マザーズ市場（現グロース市場）に上場しております。

日頃よりご支援いただいている皆さまのおかげで、
上場後も着実に収益力を高め、2025年9月期には過去最高益を達成。
財務安全性を兼ね備え、成長戦略の実現に向けた積極的な投資に踏み込める体制が整いました。

急激に変化していく市場環境にも恐れず、
これまで以上にアグレッシブな姿勢で、経営の変革と革新を進めていき、
非連続成長の実現に向け、強い覚悟をもって取り組んでまいります。

既存事業のさらなる拡大による足元の強化に加え、M&Aを通じた新規事業の創出・展開を行い、
グループ各社の強みを掛け合わせながら、社会から支持される企業であり続けます。

当社は、将来の飛躍を見据えた取り組みを進める中で、重要な局面を迎えております。
株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーの期待に応えるべく、
企業価値の向上に正面から向き合い、着実に成果を積み重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役 社長 桑野隆司



- 本資料に記載された将来情報等は、本資料作成時点における弊社の認識、意見、判断及び予測であり、その実現を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますのでご承知おき下さい。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ピアズ 管理本部 IR担当

E-mail ir@peers.jp

URL <https://peers.jp/ir/contact>

いつかの未来を、いつもの日々に

NEW NORMAL ACCELERATION